

～戦略の立案・見直し・定着化を実現する思考法を学ぶ～ 事業構想をまとめるための 戦略思考講座

研修のねらい

環境変化の激しい中で、事業部門の構想をまとめていくには、他社事業との違いを明確にして自社事業の優位性を獲得していくことが重要です。そのためには、事業のシナリオとなる戦略を打ち出し、かつ、環境変化にあわせて戦略を柔軟に修正していくことが必要になります。

本研修では、戦略の意義や策定プロセスを理解した上で、現状分析の手法や戦略立案の進め方、論理的な思考展開について、演習を交えて学びます。また実行可能性を高める実践ポイントを踏まえて、自社・自部門の事業環境分析等に取り組みます。

研修のポイント

- ✓ 基本的な戦略策定の思考方法について学びます。
- ✓ 事業部門の戦略をつくることで、自社の儲ける仕組みが見えてきます。
- ✓ 戦略を見直し続ける方法、社内への定着化の方法が身につきます。

研修期間

2026年
12/17(木)～12/18(金)
(2日間、14時間)

対象者

経営幹部・管理者

- ・ 戦略と策定の手順を基本から学びたい方
- ・ 分析力や戦略理解力を高めたい方
- ・ 自社の経営戦略、自部門の事業戦略をつくりたい方

定員 30名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
12/17 木	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	事業部門の戦略の意義とその必要性	企業における事業部門の戦略の位置づけとその必要性を考えます。 ・ 企業経営と経営戦略、事業部門の戦略の意義 ・ 理念、ビジョン、戦略の関係 ・ 戦略はなぜ効果を発揮しなかったか【演習】
	13:40-17:40	事業部門の戦略の具体的な立案プロセス	実行可能性のある経営戦略、事業部門の戦略とするために、戦略論やフレームワークの活用の仕方を学びます。 ・ 経営戦略、事業部門の戦略の策定プロセスと戦略思考 ・ ドメイン(事業領域)の定義とポジショニングマップ ・ クロスSWOT分析等のフレームワーク活用【演習】
12/18 金	9:30-12:30	戦略の成果を上げるための運用方法と定着化	経営戦略を実行し、継続して見直しを図り、組織に定着化させる方法を学ぶとともに、事業戦略の課題抽出等の検討を行います。 ・ 失敗から学ぶ経営戦略【演習】 ・ 実行可能性を高める実践のコツ ・ 経営戦略の継続化、定着化のための仕組みづくり～OODAループ～ ・ 事業環境分析による戦略課題検討【演習】
	17:30-17:40		修了証書交付

※事務連絡等を含んだ時間：14時間20分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



溝井&パートナー経営コンサルティング事務所
代表

溝井 伸彰(みぞいのぶあき)

中小機構アドバイザー。中小企業診断士・公認心理師・日本人生哲学心理学会監事。広告会社などを経て、株式会社ティビーシーでコンサルティング事業部長に就任。1999年に独立。戦略経営、新規事業開発、ワークエンゲージメント開発を中心とした組織開発を中心に、製造業・卸売業・サービス業など幅広い業種の中小企業、起業家にコンサルテーションを行っている。中小企業大学校のほか、東京電機大学、産業能率大学などで指導。「ドラッカーマネジメントを実践する会」を主宰。